

クローバー

新緑とお茶と音楽のピュアな一日

第四回グリーンフェスタ

約五〇年前に、太田道灌（江戸城を築城）がこの地を訪れ一杯の水を所望したところ、あまりの美味しさに三貫を与えたと謂われることから名づけられた「三貫清水」。私たちの暮らしには、素晴らしい歴史物語と、今も時をしのぼせる湧水池があります。

その由緒ある三貫清水の脇には鎌倉街道の名残の木立が残っています。新緑の美しい四月二十七日、そよ風と鳥の声に開かれながら、木立の中で第四回グリーンフェスタが開催されました。

野点は、抹茶と煎茶の二席を設けました。昨年好評をいただいたので、今年も抹茶と煎茶のお席をそれぞれ用意しました。お作法を教えたいただきながらいただくお茶とお菓子に、米場者の皆様は、ゆったりと和んでいたただけようです。



北高の江藤善文先生のパンフルート演奏で始まりです。今年はずと打楽器のお仲間と一緒に、たっぷりと演奏いただきました。



北高箏曲部の琴合奏、紙芝居、民謡のリスム感溢れるダンスは皆のお待ちかね。見事な足さばきは今年も健在です。



北高からは箏曲部にも出演いただきました。午前と午後と琴の合奏をしていただき、校長先生も応援に駆けつけて見守ってくださいました。

食育の取り組みが始まりました

①みんなでワイワイ味噌づくり

寒さも厳しい二月二十日（日）、クローバーの会員、北区子供会の子供たちが、大宮北ロータリークラブ、地域の婦人会の方たちと一緒に味噌作りに取り組みました。聖学院大学の学生をはじめ、味噌を作るのは初めてという人が多数参加するという事で、まずは「味噌作りについて」を、秩父市からお招きした、新井武平商店の新井社長から講義を受けて始めることにしました。



パンダナにエプロン、マスクに手袋と、準備万端の参加者は、前日から浸けこまねふつくとした大豆が、三つの大釜と鍋の中で煮えてくると、そわそわ。朝7時から会場準備、8時からは火入れにと頑張る、お腹が空いたところでお昼ご飯。熱々の「ひつぱりうどん」で体の中から暖まりました。



②畑を借りて野菜づくり

もう一つの食育活動は野菜栽培です。コミュニティ活動支援センターの隣に借りた畑に、ジャガイモを植えました。土を耕し、草をとったり世話をしながら成長を見守ることは、口頭なかなか自然に触れる機会がない子供たちにとって本当に貴重な体験となりました。

子供の食の風景が懸念される今日この頃。学校現場での食育の取り組みも始まりました。私たちは、こうした活動を通して、応援と見守りをしていきたいと思えます。



さいました。また、三貫清水の会には、この地の歴史をわかりやすい紙芝居で見せていただきました。民謡同好会には懐かしい曲や親しまれている曲を次々と演奏いただき、とりわけ年配の来場者に喜ばれていました。草苗づくりや竹の子販売



御礼

実行委員や後援団体等としてご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

- 裏千家寛見せつ子先生社中の皆様
- 煎茶道万流家元師範丹波祥園社中様
- 聖学院大学茶道部様 本川 盛様
- 三貫清水を守る会様 長澤義治様
- 大宮北高校箏曲部様 江藤善文様とご友人様
- 總の音手織り研究会様 民謡愛好会様
- 別所町自治会様 日進町三丁目自治会様
- 宮原町三丁目自治会様 奈良町自治会様
- 田沼昭憲様とご友人一同様 中井 孝様
- 並木秀男様 大宮北ロータリークラブ様

日々喜（ひびき）は今日もげんき！

宮原駅西口に、小さいけれどキラリと光るお店「日々喜」さん。チャレンジショップとして開店してから、販売する品物も少しずつ増えました。その中で密かに人気のエコグッズ「竹炭」をご紹介します。この竹炭は、クローバーの仲間が材料から切り出し、焼き上げまでを協力したものです。暑い夏も汗かくで多くの人が関わって作られた竹炭。200グラム入り袋が200円とお買い得です。その他にも蜂蜜や可愛い小物など取り揃えています。お近くを通られた時には、ぜひお立ち寄りください。



「まちづくり協議会クローバー」
二〇〇三年四月発足の宮原駅西口地域まちづくり協議会を前身とし、二〇〇五年八月に、より幅広い活動を目標として改称した市民組織です。「この地域をすべての住民にとって住みやすいまちにしたい」という願いのもと発足されました。現在の会員は、宮原西口自治会、宮原町三丁目自治会、日進町三丁目自治会、日進町三丁目子供会育成会、聖学院大学、NPO法人コミュニティ活動支援センター、聖学院大学学生会、みやはら福祉会、JR宮原駅、東内建築設計事務所です。

私たちの「水と緑の保全宣言」

まちの清掃をはじめとし、逆川の再整備への活動、竹林の整備と、地域のよりよい環境を守るために、息の長い活動を続けてきた私たちですが、第四回グリーンフェスタを機会に、「水と緑の保全宣言」を行いました。



保全対象と地域（ゾーン）

私たちの活動地域には、水資源として、三貫清水（泉の復活）、鴨川、浅間川（戸崎地区）、遊水池があります。また、緑の資源（雑木林など）としては、三貫清水公園内、戸崎地区、甲山、雑木林、竹林、屋敷林が散在しています。この、緑の資源の拠点と拠点を結び、それら水資源を結んだラインで大きくつないで、「一つの保全地域（ゾーン）」と考えます。

聖学院大学とその脇の鴨川を囲んだこの地域で、今年度の新たな活動を開始したいと思えます。緑に親しもうという「グリーンフェスタ」を新たな活動の第一歩とし、地域の皆様のパワーと聖学院大学の英知をお借りして、保全地域の探訪からはじめ、保全イメージ案件作成へと進めていきます。